



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

94.10.19 No. 4081

「12・3ダイヤ改」阻止
94冬季物販2倍化達成
水野中江選挙勝利

10/14 支部代 ご確認 3大争いに決起はよ!

第二一回定期大会の成功後、「一二・三ダイヤ改」阻止、九四冬季物販2倍化達成、水野中江選挙闘争勝利を中心とした当面する取り組みを確認していく。第一回支部代表者会議が、一月一四日、動力車会館において開催された。

「一二・三ダイヤ改」阻止へ向け

ストライキを含む闘いを!

「一二・三ダイヤ改」の問題点はすでに明らかのように、①、今回増配備される二五五系の行路を全て京葉運輸区持ちとする、館山・勝浦からの管内業務移管攻撃である。異状時の列車運行に重大な支障をきたすこととなる運用を、「何も支障はない」とする千葉支社の姿勢こそ、動労千葉潰しの労務政策の観点からの業務移管であることを如実に示すものだ。

②、昨年七月・一二月のローカル線廃止にも増した、大幅なローカル線切り捨てが画策されている。廃止対象列車は四〇本、キロでは二千キロ以上であり、ダイヤ改が強行されれば、このわずか一年半で六八本の列車が廃止されるのだ。JR当局は、鉄道の持つ公共性も、地域生活の破壊も全く無視し、「採算」の名の下に線区を次々と切り捨てようとしている。これが「人にやさしい」JRの真の姿だ。

対策を全て剥がしてしまおうという攻撃である。動乗勤改悪後の運転士の業務は、長時間拘束・ロングランが強制され、五〇才を越えた高齢者にとって、本線乗務を続けることがあまりにも厳しい現実のなか出されている。今次提案は、体力的に無理な者は辞めろとする実質的な若年退職を強要する攻撃であり、断じて許せるものではない。

④、又、幕張・習志野電車区での交番検査体制・技官体制等の合理化、営業における千葉以東への自動改札機拡大による要員削減、等々、「一二・三ダイヤ改」は全面的な合理化攻撃に他ならない。

そして貨物での動乗勤改悪・中長期計画合理化は、「貨物七千人体制」へ向けた、「緊急三カ年計画」の初年度のダイヤ改として、「一二・三ダイヤ改」があること。「分割・民営化十年目の総括評価」を見据えたものとして、貨物大合理化が画策されることは必定的である。

われわれは、今次「一二・三ダイヤ改」阻止へ向け、ストライキを含めた闘いを配置し、要求の実現を求めていかなければならない。

動労千葉の代表を議会へ!

組織内候補の当選へ向け闘おう

自社連立村山政権のもと、急ピッチで進む戦争国家体制作り、労働者に対する権利剥脱の攻撃

は、終身雇用制・年功序列型賃金の破壊、規制緩和の下に大失業者時代の到来を告げようとしている。そして社会党・連合の屈伏は、今や攻撃と闘う議員、労働者階級の声を代弁する革新勢力の私底へと突き進んでいる。

こうした状況であるからこそわれわれは、地域において闘う議員を自らの手で獲得し、戦争と失業の時代に抗する運動を全力で作りあげなければならない。

船橋市議選においては、真つ向から反戦・消費税反対を掲げ、選挙闘争を闘う決意を表明している中江四選を何があんでも勝ちとらなければならない。そしてとりわけ勝浦市議選には、水野執行委員が、動労千葉現職の執行部として初めて出馬する。この闘いは動労千葉の鼎の軽重を問われるものとして、目の色を変えて勝浦地域を席卷する闘いの渦を巻きおこさなければならない。

勝浦市議選は、基地統廃合攻撃やローカル線切り捨て攻撃に地方自治体が反対の声をあげていないという県内の状況に対し、新風を吹き込み、職場から闘いと自治体闘争を結合して、

JR体制を包囲していく意味から言っても極めて重要な闘いである。

九四冬季物販がスタート!

九四冬季物販闘争がいよいよスタートした。すでに協販部には、過去最高の日数であった前回を越える全国オルグの要請が殺到している。

これは、「全国にはばたこう」方針と、社会党の路線転換という情勢を契機として、動労千葉に対する期待と注目がかつてなく高まっている状況であることを示すものに他ならない。

われわれは大会で決定された「さらに大胆に全国にはばたこう」方針の下、さらに全国へと打って、物販2倍化を達成し、それをも越える闘いとして、さらには、「闘う労働運動の再構築」へ向けた、「一二・一八労働者集会とも大きく結合させていくもの」として、九四冬季物販闘争へと決起していこうではないか。

以上、当面する動労千葉の三大闘争へ、組織の総力をあげて闘い抜こう!

朝鮮侵略戦争阻止! 一〇・二二全国統一行動に決起しよう!

日 時 一九九四年一〇月二二日(金) 一八時より
場 所 東京・浅草公会堂、宮下八幡園
指定列車 千葉駅八番線、一六時五四分発、快速久里浜行
本社連立村山政権は、「安保堅持」「自衛隊合憲」から原発推進・規制緩和の断行が使命と反動政策を押し進め、戦争国家体制を築こうとしている。又、北朝鮮の「核疑惑」を口実にアジアへの新たな侵略を行なおうとしている。こうした状況に対し、われわれは一〇・二二国際反戦デーにあたり、反戦共同行動委員会が呼び掛けている標記全国統一行動に決起しよう!